

は、第一項において、本条に規定する解雇基準は正当な組合活動には適用しない旨をはっきり断つてゐる。もとより、このような断り書がなくとも、労組組合の正当な行爲をしたことを理由にして解雇その他の不利益を取扱いをすることは当然のことであり、第二組合の

社会問題研究所 西井龍生

そこで、会合拒否の理由を事由が正当な組合活動であるかどうかが問題となる。会社が不当にも職場活動家を生産阻害者と名づけて指名解雇をしようとし、それを遂行するために攻撃的にロックアウトをしかけてきたところに、三池争議はよじまった。

東京地裁の判決（昭37・4・18

不当な解任に反対して組合員の
の論旨には、団結権・争議権・
省を守るためにおこなったストライ
有給休暇・措置要求などの理解に
イキは、もとの正当な争議権の
ついでに十分な点が少なくないが
行便である。しかも、会社は争議
地公法三七条がスト実行者を処罰

三川鉦
災 変
もう黙つておれない

たとへば、正当な議決機関の決定がないのに、あるいはその決定を越えてストを教唆するような場合、あるいは外部のものがストを教唆するような場合がそうである（最後の場合については異論があるが）そして、この一〇割休戦戦術の実施については、組合の正当な機関によって決定されたところなのである。

上原さん（三建組夫）が死亡

三川鉦
変災

もう黙つておれない

正月休みの終ったばかりの六日に――
は斗争前の労働一体の保安対策――とである。

四山鉦では早くも殉死者一名を出し、われわれは新年にあたり保安確立をさらに強くさげんでいた矢先、こんどは三川鉦で犠牲者を出した。しかも、犠牲者は三井建設の組夫として坑内作業をやっていた上原邦治さん（28）で、組夫としてはじめての犠牲者である。

からみると、大幅に後退を示している。

また「会社は今日の災害切羽に早速一番方から繰込むというが当面の対策はどうか」との質問に対しても、不明のままであった。

そこで、組合の保安委員は「われわれの熱意はなにわが方の保安委員は、この真相を労伤者に訴え、関係官庁に照会し意見を聞くなどを強く抗議し引揚げた。

相づく災害に対する会社の保安監視は、今回の問題がその姿をはっきり物語っている。これでは労伤者として黙っておれない。

一月二十二日午前一時ごろ、三井建設組夫の松島さんは、三川鮎五（二）米坑道本延掘進作業（挿孔作業）をわっていたが、突然長さ九〇センチ・幅六五センチ・厚さ二五センチの崩落礫が落ちて直撃をうけ、重傷を負った。直ちに救助し入院したが同日午後七時五十分

れわれは現場を見てきたので要望しておきたい」と申入れたところ、それさえ問題になったほどである。

なお、ここで見逃してならないことは、第二組合の某保安委員は、ここで意見を出せば、斗争後災害検討会はいなくなっているのに違

映画「三池」が入賞

国際記録映画祭で

第五回記録映画祭が、このほど東ドイツのライプツヒ市で行なわれたが、この映画祭に日本から出品された三池斗争を記録した映画

死にされた。

この震災のため保安委員が招集され検討を行なったが、ここで三池労組保安委員は、相づく災害の発生に対して「今年に入り西山の小林さん、こんどの



反するから」と反対したことであり、本社及び三川鉱の両保安係長も同趣旨から反対し拒否したと

三池が入賞し、東ドイツ労働者

日韓会

安保共斗 大争

安保反対国民会議の呼びかけで全国いっせいに決起した日韓会談紛

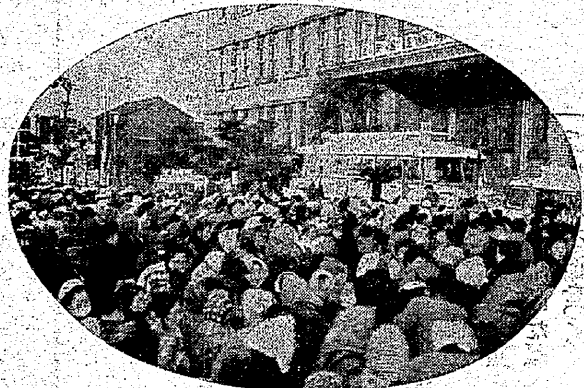
松島さんの死亡と引つづき重大災害が増大しつつある」と指摘し抗議した。

ところが会社は、災害の検討・対策は、一時的なものである、と断言した。



碎第六次統一行動は、一月二十一日を中心に全国各地でいっせいに展開された。

この統一行動は、安保共斗の呼びかけで、昨年十二月の日連会談粉碎全国代表者会議「らい地域共斗の行動展開が準備され、この目ま



九州拠点会議ひらく

組合賞を獲得した。
この映画祭には、四九カ国から二
二五名の製作者が参加し、記録映
画九四編、長編映画一六編が上映
されたものである。
選定の結果は、三池の労作者の
闘いを描いた「三池」が最高賞を
獲得したのである。

いまや、最賃制斗争の推進は論議の段階から具体的な行動を展開する段階に至っている。

寒のある斗争にはなっていない最低八千円の要求は制度化されたが、これを確実に立法化する

別府市で討論会をひらき、春斗最低賃金九州拠点会議では九州各県、山口県の代表二〇名が参加して一月二十日から三日間、〇・一回の斗いで勝利は望めぬ。長期抵抗路線で斗い、繰返し繰

での大値上げとともに、最賃制では、従来のマンネリを脱した意欲的、かつ発展した行動を起すに十分なインセンティブを創出する必要がある。

この集会には、三池努組からは三川支部沖芳仍部長が参加した。まず、集会では九大奥田助教授が

に「劣竹者はあくまで最賃制の立法化をかちとつてはならぬ。そうでない限り大幅な賃金の上昇はない」として、
○従来の最賃制斗争は総評の指導

ちとれない」と般賃制の必要が強く述べられて。

強力に立法化へ

討論の中での主な意見を挙げると

○「苦しい闘いを続けながらも成果は着々と上っている。こんでい

導では徹底してない、もつと強化すべきた。

○「苦しい闘いを続けながらも成果は着々と上っている。こんでい

○これまでの労組は最賃制のスローガン掲げて闘ってきたが、さほど十分実のある斗争に盛り上げるべきではないか。

田地区の大集会
場一致で採択された。
同時に、十名の不当な責任追及を

り、寒波に襲われるなど、全国
の寒さに見舞われるなど、全
くにきびしい寒波に襲われたが各
地でもいっせいに集会が行なわれ
た。行なった三井鉱山に対しては、栗木
社長あての抗議文、また基地問題
で防衛庁・米大使館への抗議がそ
れぞれ採択され、集会後暴風雪を吹

大牟田地区でも、安保共斗は大牟田地区大集会が、午後五時から市役所前でひらかれ三、〇〇〇名がきこばして五月橋までデモ行進をつづけた。

なお、安保共斗では二十一日から二十十日まで地盤さん下りついで、

粉砕・合理反対・池田内閣打倒を指標に立上つたが、集会では浦川実行委員長の挨拶のあと、社会党・共産党・大地群代表からの

に署名運動を展開、県民行進も二月十七日大平田集結めざし、二月二日に県内から行進を起す。

安保共斗大牟田地区の大集会

映画「三池」が入賞
国際記録映画祭で
第五回記録映画祭が、このほど東
ドイツのライプチヒ市で行なわれ
たが、この映画祭に日本から出品
された三池斗争を記録した映画「
三池」が入賞し、東ドイツ労働者
の
法化をかちとねばならぬ。そう
でない限り大幅な賃金の上昇はか
ちとれない」と最賃制の必要が強
く述べられて
強力に立法化へ
討論の中での主な意見を挙げると
○…これまでの労組は最賃制のス
ローガンを掲げて斗争してきたが
そかになる。
○…従来の最賃制斗争は総評の指
導では徹底していない、もっと強
硬化すべきだ。
○…苦しい斗争を続けながらも成
果は着々と上っている。こんで
さらに十分裏のある斗争に盛り
上げるべきではないか。

日韓会谈粉砕

メッキジがあり、スローガン採
択のあと、稲田首相への抗議文が満
場一致で採択された。

同時に、十名の不当な責任追及を行なつた三井鉱山に対して、栗木社長あての抗議文、また基地問題「市街市」・「米吏官」の抗議が二、

日を中心に全国各地でいっせいに展開された。

この統一行動は、安保共斗の呼びかけで、昨年十二月五日（金）夜から大牟田地区でも「安保共斗大牟田地区大集会」が、午後五時から市役所前（ふらりか三丁目）までつづけた。

たに、昨十一月の日報を影写して、昨十二月三日（CCC）名刺で直接送りつけた。CCCは「砕全国代表者会議らしい地域共闘の行動再開が準備され、この日まで約三十五の都道府県共闘が行なわれ、春土語要求獲得・日韓会談結果」「粉砕・合理化反対・池田内閣打倒」を指標に立上ったが、集会ではなお、安保共闘では二一日から二十日まで地評さん下いっせいに署名運動を展開、国民行進も二月十七日大牟田集結めざし、二月

この日、東北、北陸地方は突風、激計画をつくり上げたものである。浦井実行委員長の挨拶のあと、社会党・共産党・大地評代表からの二日に県内から行進を起す。

三川の採重常一分会

三川の採重常一分会
三川支部採重常一番貯場分会では
一月三十一日、昇坑後組合本部へ
激励を行なつた。

田中分会長が全員を代表して「宮川組合長以下一〇名の解雇を全労
 働者の怒りと団結で統一戦線を拓

大し わが採重常一分会がその生
頭に立つことを誓う」との激励を
行ない、激励文を手渡した。
これに対して組合を代表して永田

組織次長が「全国的な合理化の先
がけとして行なわれた責任追及は
たんに一〇名の問題だけでなく日
本の労働運動を左右する斗いとし

勞仿法を無視した攻撃である。日本の勞仿組合を守り、勞仿者の權利を守るため絶対に許せぬ立場で